

授業科目名	教育心理学		科目コード	204009	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園	学 年	1 年
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )		
	実務経験内容 教育現場に長年勤務し、教員として子どもから成人までの教育に従事。 また、医療機関でも、非常勤心理師として不登校や発達障害など精神的な課題を抱える生徒のカウンセリングなどに従事。 現場での経験や実践を活かしながら、教育心理学の知識やスキルの応用が保育の現場でも必要であることを習得できる講義を行う。				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	15 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	実践に活かす保育の心理学			
	著 者	原口 善充 編書			
	出版社	ミネルヴァ書房			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<授業の目的・目標> ・ 子どもや児童の心身の発達や思考の形成、学習の過程について、基礎的な知識を習得する。 ・ 対人援助者として、それぞれの発達段階における心理的特性を理解した子供への援助や保育を考えることができる。 ・ 保育・教育に関する心理学的な基礎知識や、保育を実践する際に必要な教育心理学的な知識の理解を深め、子どもたちの発達過程において生じる様々な問題に寄り添える力を養う。					
<授業の概要・授業方針> ・ 保育の現場において、教育心理学で習得した知識やスキルを応用し、子どもたちの健全な発達を支援できるよう、グループワークなども取り入れ実践的な力を習得できるよう工夫する。 ・ 保育・教育現場で大きな課題となっている「発達障害」についての知識や対応について理解を深められるよう、医療現場での具体的な事例なども提供しながら講義を行う。					
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 評価基準 ①小テスト、提出物：50% ②授業態度：50%					

## &lt;使用問題集・注意事項&gt;

- ・講義時に提示する
- ・必要に応じて随時、資料を配布する

## &lt;授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他&gt;

- ・幼児の心理学で習得する知識や技術についての復習・予習を行う。

授業科目名		教育心理学	
回	授 業 内 容	備 考	
1	授業内容および講義の進め方についてのオリエンテーション		
2	教育心理学とは？		
3	保育に生かす教育心理学		
4	発達に関する基礎概念		
5	心身の発達～乳幼児期の発達		
6	心身の発達～児童期の発達		
7	言葉の発達		
8	自己意識の発達		
9	遊びと子供の発達		
10	動機づけと学習意欲		
11	パーソナリティの発達と適応		
12	発達障害の理解：発達障害とは？		
13	発達障害のある子どもの主な特性		
14	発達障害のある子どもの保育		
15	子どもをめぐる教育的課題		